

## 1. 特に効果的であり改善に資した事例について

### F. その他

#### ②国際シンポジウム等の開催

##### ●高崎経済大学地域政策研究科地域政策専攻

##### 「地域政策の実践的体系化による高度人材育成」の事例

(具体的に何を実施したのか)

- ・アジア地域政策国際シンポジウムによって、アジア諸国等多くの国々との間で地域政策研究に関する教員、大学院生レベルでの研究交流や留学生の受入を強化・推進した。毎年、アジア地域政策国際シンポジウムが開催され、研究交流が促進された。また、中国を中心として、研究拠点形成の土台が形成された。

(実施に当たり特に考慮・工夫したことや、注意を払ったこと)

- ・高崎経済大学において実施した国際シンポジウム  
2007年度 第4回アジア地域政策国際シンポジウム 『地域再生戦略を考える』  
2008年度 東アジア国際シンポジウム・講演会 『大学間の国際研究・教育交流の進展』  
2009年度 第5回アジア地域政策国際シンポジウム 『グローバル時代における地域政策の現状と課題』
- ・大学院生は国際シンポジウムに参加して、海外の研究者の研究発表を学習し、シンポジウムの運営や進行などについても体験した。中国からの留学生は通訳として活躍した。さらに、第5回アジア地域政策国際シンポジウムでは、大学院生が研究成果を発表し、貴重な経験をした。

(どのような結果が得られたのか、どのような良い影響があったのか)

- ・3年間継続して実施したアジア地域政策国際シンポジウムは、確かな成果を生んだ。東アジアには中央集権的に国家統治を行っている国々が多い。今後、中国、韓国などは特に、地方分権、民主化、地域政策、都市と農村の格差解消などの課題が迫ってくる。そうした共通課題を話し合う場を継続的に持てたということには大変意義があろう。この事業は、3年間に渡って、地域政策の国際的な研究協力体制作りを行ってきたといえ、今後の展開が大いに期待できる。高崎経済大学は地域政策研究において、その先頭に立って、研究教育を推進して行きたい。
- ・アジア地域政策国際シンポジウムでは、ポスターやリーフレットを作成して、他大学や日本地域政策学会員を中心に周知を行った。さらに、シンポジウムの成果は報告書にまとめ、演習の報告書と同様に配布を行った。

- 第4回アジア地域政策国際シンポジウム : Discussions of Regional Revitalization Strategies: From the Perspectives of Japan, China, Korea and Thailand (平成21年3月、河辺俊雄編、pp.135)
- 第5回アジア地域政策国際シンポジウム : Issues and Challenges in Regional Policies Under Globalization (平成22年3月、河辺俊雄編、pp.234)